「感染症に関する意見書」についてのお願い

学校において予防すべき感染症に罹患した場合は出席停止になります。ご多忙中のところ恐縮ですが、本校生徒について、下記の「感染症に関する意見書」にご記入いただきお渡し願います。

感染症に関する意見書

年 組 名前

療養機関 年 月 日から 年 月 日

その他指示事項

下記に該当する感染症に○印をつけてください。

	○印	病名	出席停止の基準
第一種		インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで
		百日咳	特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで
		麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
		流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日間を経過、かつ、全身状態が良好となるまで
		風しん	発疹が消失するまで
		水痘（水ぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで
		咽頭結膜熱	主要症状が消失した後2日を経過するまで
		結核	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
		髄膜炎菌性髄膜炎	
		新型コロナウイルス感染症	発症後5日を経過し、かつ症状が軽快後1日を経過するまで
第三種		コレラ	症状により学校医その他の医師が感染のおそれがないと認めるまで
		細菌性赤痢	
		腸管出血性大腸菌感染症	
		腸チフス	
		パラチフス	
		流行性角結膜炎	
		急性出血性結膜炎	
		溶連菌感染症 A型肝炎、B型肝炎 手足口病 伝染性紅斑 ヘルパンギーナ マイコプラズマ感染症 感染性胃腸炎 など	学校で通常みられないような重大な流行が起こった場合に、その感染を防ぐために、必要があるときに限り学校医の判断を聞き、学校長が第三種の感染症として緊急的に措置をとることができる

上記の感染症で療養中であつたが、主要症状が消失し、感染のおそれがないものと認めます。

年 月 日

医療機関名

医師名

印